

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00176）

事務事業名称 障害者の社会参加支援			款 04	項 01	目 03	事業 004	整理番号 181						
現担当課名 障害者施策課		係名 管理係		連絡先電話番号 1142		昨年度整理番号 176							
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業							
事業開始 平成18年度		実行計画事業 目標 04 施策 18		計画事業 03		01							
平成26年度担当課名 障害者施策課							事業評価区分 一般						
対象 身体障害者、知的障害者、精神障害者 など		根拠法令等 (1) (2)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条									
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 障害者が住み慣れた地域で、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		移動支援事業利用者数 移動支援事業実利用者数（月々平均数）								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 移動支援、社会参加促進事業（各種講習会、自動車改造費助成等）、意思疎通支援（手話通訳者・要約筆記者派遣等）、地域活動支援センター等の利用は、対象者の申請に基づき、各事業の資格要件を判断した上で、サービスを給付または助成する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		1か月の移動支援利用者率 移動支援事業利用者数 ÷ 移動支援事業支給決定者数								
	区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画 (目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)			
	活動指標(1)	1	人	572	592	616	615	644	706	104.7			
活動指標(2)	2												
成果指標(1)	3	%	64.0	66.0	63.8	66.0	63.4	66.0	96.1				
成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	444,248	441,408	413,944	444,748	432,445	453,326	平成26年度 予算執行率(%)	97.2	
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費		7	千円	418,697	400,160	388,842	418,253	406,465	426,958			
	職員数	常勤職員数	8	人	1.90	2.70	2.91	2.70	3.76	3.76			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		非常勤職員数	10	人	2.00	2.00	5.00	5.00	5.00	5.00			
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,530	23,301	25,113	23,787	33,126	33,126			
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0			
		非常勤職員分	13	千円	5,500	5,560	13,900	14,150	14,150	14,150			
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	466,278	470,269	452,957	482,685	479,721	500,602			
	単位あたりコスト ((14-6) ÷ 1)		15	円	815,171	794,373	735,320	784,854	744,908	709,068			
	財源	受益者負担分		16	千円	2,302	2,368	1,929	2,221	1,792	2,042		
		国からの補助金等		17	千円	115,373	143,345	132,292	132,214	257,783	136,220		
		都からの補助金等		18	千円	57,686	80,036	73,668	74,394	72,400	76,616		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	175,361	225,749	207,889	208,829	331,975	214,878				
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	290,917	244,520	245,068	273,856	147,746	285,724				
受益者負担比率 (16 ÷ 14)		22	%	0.5	0.5	0.4	0.5	0.4	0.4				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	181
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		移動支援事業委託	67,505	回	388,812
		手話通訳者・要約筆記者派遣延回数	1,073	回	8,767
		地域活動支援センター事業（運営：直営1所、補助事業所1所）	2	所	23,945
	その他（自動車改造費支援、社会活動支援、代読・代筆サービスほか）			10,921	
(2) 事業実績	<p>移動支援事業の利用回数は、年間2,000回以上と大幅な伸びを示しましたが、これは区がすぎなみ地域大学と協働で行ったガイドヘルパー養成講習会による人材育成（107人資格取得）の成果の一部と考えています。</p> <p>手話通訳者等の派遣事業が前年から約80件の増となるなど、コミュニケーション支援を通して、障害者の社会参加を支援しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年10月の障害者自立支援法本格施行に伴い、事業の再編・新規事業を開始しました。法施行3年目を迎えた平成20年度に法の見直しが行われました。</p> <p>平成22年12月には整備法が公布され、障害者自立支援法の一部が改正されました。平成24年度には自立支援法、児童福祉法の改正により民間の相談支援事業所の役割が拡大しました。</p> <p>平成25年4月に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）が施行され、身体・知的・精神の3障害に難病等が追加されました。</p> <p>障害者総合支援法施行3年後の平成28年4月にサービスや基準等の見直しが予定されています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>障害者社会参加活動の中心事業の一つである移動支援事業には、余暇・社会参加活動だけでなく、通所・通学に利用したい、また対象を引き下げて、小学生低学年から利用したい、さらには通所・通学先を起点として利用したい、精神障害者の基準を緩和してほしいなど、柔軟な利用への要望が数多く寄せられています。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、派遣費の増額等の要望が出ています。</p> <p>意思疎通に支障のある知的障害や失語症の方等の支援について、研究・検討、職員への周知等が求められています。</p>			
	今後の予測	<p>移動支援事業の利用者は、制度改正のあった平成24年度を除き、一貫して増加しています。今後は利用者の増に加え、ガイドヘルパーの養成による従事者の増から、利用率や一人当たりの利用時間の増が見込まれます。</p> <p>手話通訳者・要約筆記者派遣事業は、派遣対象となる事由の周知が進み、派遣回数は今後も増加すると予想されます。</p> <p>平成28年4月障害者差別解消法施行に向けた権利擁護等の動きの中で、合理的配慮のひとつとして意思疎通支援事業の重要性が高まってくると考えられます。</p>			
評価と課題	<p>引き続き、公平で適正な移動支援サービスが受けられるよう、ガイドラインに沿った支給決定を行っていきます。移動支援事業の拡大に伴い、ガイドヘルパーの養成のほか、質の確保、さらにはガイドヘルパー有資格者への就労支援が課題となっています。また、利用基準の緩和など特に多い要望に対して、代替案などどのような対応をしていくのかも課題となっています。</p> <p>手話講習会、要約筆記講習会など各種教室は、応募者の伸び悩みや講師の人材確保が課題となっています。</p> <p>区直営の地域活動支援センター事業は、今後の方向性や、利用者ニーズへの対応など、引き続き検討していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
今後の進め方	<p>移動支援事業では、利用基準の緩和、対象範囲や利用対象者の拡大などの要望があります。当事業は障害者の社会参加、余暇活動の際の外出を支援するための制度であり、現状では財政的な面からも利用基準の緩和等は困難な状況です。ただし、利用者や介護者の状況に応じて、3か月の通所訓練や一部通学を認めています。平成28年4月に予定されている制度見直しにあわせて、移動支援事業ガイドラインの改定など、適正なサービス支給を確保していく必要があります。</p> <p>区直営の地域活動支援センターは、そのあり方全般を見直す中で、より利用者のニーズに沿った実施内容となるよう、引き続き検討していきます。</p> <p>意思疎通支援事業は、現在の実施事業も含めた求められる様々な支援について、対象、優先順位、手段・方法等を研究・検討していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00178)

事務事業名称		障害者福祉の啓発			款	04	項	01	目	03	事業	007	整理番号	184	
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1142		昨年度整理番号	178		
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和51年度													
	平成26年度担当課名	障害者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住で障害者手帳を取得している障害者、支援者及び関係機関。障害者福祉推進連絡協議会委員。			根拠法令等	(1)		障害者基本法第5、7、23条							
						(2)		杉並区障害者福祉推進連絡協議会設置要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人もお互いにふれあう機会を通じて、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。障害者の生活に役立つ情報を正確かつ迅速に提供し、必要な情報を誰でも容易に得ることを可能にする。			活動指標	指標名(1)		「ふれあいフェスタ」参加団体・作業所数							
					指標名(2)		「ふれあい美術展」出展数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉及び関連施策の推進を図るため、杉並区障害者福祉推進連絡協議会を開催する。障害者の生活支援サイト「の～まらいふ杉並」を運営する。アクセシビリティに十分配慮し、誰もが使いやすいサイト作りに取り組む。「ふれあいフェスタ」などの各種催しを障害者週間事業として実施する。			成果指標	指標名(1)		障害者生活支援サイト「の～まらいふ杉並」年間アクセス数								
					指標名(2)		障害者福祉推進連絡協議会開催回数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 組	62	56	54	60	47	50	78.3						
	活動指標(2)	2 点	200	200	295	300	261	300	87.0						
	成果指標(1)	3 件	196,908	200,000	193,304	200,000	218,051	230,000	109.0						
	成果指標(2)	4 回	3	3	3	3	3	3	100.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	9,900	24,683	20,056	10,137	9,025	10,695	平成26年度予算執行率(%)	89.0					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	7,156	16,270	12,164	7,369	6,548	8,024	障害者の生活支援サイト「の～まらいふ杉並」の内容を更新するたびに更新費用が発生しますが、平成26年度は更新する内容が当初予想よりもやや少なく、更新回数減により執行残が発生しました。						
	職員数	常勤職員数	8 人	2.50	2.50	2.50	2.50	2.60	2.90						
		再任用職員数	9 人	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	1.00	1.00	0.50	0.10	0.10						
	人件費	常勤職員分	11 千円	21,750	21,575	21,575	22,025	22,906	25,549						
		再任用職員分	12 千円	1,965	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	2,780	2,780	1,415	283	283						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	33,615	49,038	44,411	33,577	32,214	36,527							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	542,177	875,679	822,426	559,617	685,404	730,540							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	3,507	3,507	3,321	3,664	3,254	3,688						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	3,507	3,507	3,321	3,664	3,254	3,688							
差引：一般財源(14-20)		21 千円	30,108	45,531	41,090	29,913	28,960	32,839							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	184
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	障害者支援サイト			6,507
		障害者週間事業			886
	(2) 事業実績	その他（障害者福祉推進連絡協議会経費・管理事務費・郵送費ほか）			
		<p>「障害者支援サイト」では、公共機関サイトが目指すべきレベルの等級AAに準拠するため、平成24年度にJIS規格診断を実施し、平成25年度に等級AAを実現、平成26年度も等級AAを維持しました。平成26年12月に区と障害者団体連合会が共催して「ふれあいフェスタ」を開催しました。また、障害者週間事業としてパネル展示を本庁舎で行いました。障害者福祉推進連絡協議会では、障害者の権利擁護を推進するための意識啓発方法や「対応要領」の策定に向けたスケジュール等の説明と意見交換を行いました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成15年度より、障害者自立生活者等表彰の対象に、精神障害者を加え、三障害すべてを対象としました。 平成18年4月に障害者自立支援法が施行され、施設体系やサービス体系が大きく変化しました。杉並区障害者週間事業と一体で開催していた社会福祉協議会が主催する「つえるフェスタ」が、平成21年度で終了となりました。 平成25年4月に「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）が施行されたことにより、三障害に難病等が追加され、障害福祉サービスや地域生活支援事業の対象者が拡大しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>家族や障害者本人の高齢化や障害の重度化等、障害者の実態に合わせた施策を実施して欲しい、サービスや制度の変更に際しては、適切かつ速やかな情報の提供を行って欲しいとの要望があります。</p>			
	今後の予測	<p>平成25年4月の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」が施行されてから様々な事業を実施していますが、現行の障害者への理解に関する啓発事業の実施方法の見直しや新たな事業の展開などが引き続き必要です。 国において障害者総合支援法の見直しが進められている中で、近隣自治体とも連携しながら情報収集に努め、適切かつ迅速に正確な情報を関係者へ提供し、円滑に新制度へ移行できるよう準備を進めていく必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>障害者福祉推進連絡協議会では障害関係団体の他、地域・教育・就労機関等の関係者を委員とし、障害者や障害福祉施策に関する理解促進や意見交換の場として有機的に機能しています。より広範な意見収集・議論の場としての機能を維持・拡充していく必要があります。 障害者支援サイトでは安定したサイトへのアクセスがあります。区のウェブサイトが統合される再構築への取組みが進む中で利用者への丁寧な説明と周知を実施していきます。また、サイト移行後に発生するであろう問題を予測し、対応策を検討していきます。 「ふれあいフェスタ」では、障害の有無に関わらずより多くの方が参加できるイベント内容と実施体制の有り方を障害者団体連合会と検討していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>障害者生活支援サイト「の～まらいふ杉並」は、障害者へ最新の情報を提供する有効なツールです。区のウェブサイト再構築に向けて「の～まらいふ杉並」の独自性（障害者向けに特化したサイト内容・等級AAのウェブアクセシビリティ等）をできる限り継承できるよう検討します。 ふれあいフェスタでは、障害のある方とない方の交流を契機に、地域で社会生活を営む障害のある方等に対する理解を更に深めるため、区民ボランティアを活用したイベントを開催します。併せて、障害者の権利擁護を推進するための講演等を実施し、権利擁護の理念の普及、障害を理由とする差別の解消等に向けた施策を実施します。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00179)

事務事業名称		障害者団体への助成			款	04	項	01	目	03	事業	008	整理番号	185	
現担当課名		障害者施策課			係名	管理係			連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	179		
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和39年度													
	平成26年度担当課名	障害者施策課										事業評価区分	一般		
	対象	区内の障害者、一般区民、心身障害者団体			根拠法令等	(1)		障害者基本法第3条、第4条							
					根拠法令等	(2)		杉並区心身障害者団体助成要綱							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標	指標名(1)		団体の事業開催回数							
	障害者の団体活動を支援することにより、障害者の自立や社会参加の機会を拡大する。				指標説明	指標名(2)		団体事業活動の参加者数							
事務事業の概要	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標	指標名(1)		活動参加者数対前年度比							
	心身障害者団体の運営や活動に係る経費の一部を助成する。 心身障害者の生涯学習事業に係る経費の一部を助成する。 障害者と健常者の相互理解を促進する「ふれあい運動会」を実施する。				指標説明	指標名(2)		指標説明							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	回	115	108	102	137	128	158	93.4					
	活動指標(2)	2	人	2,900	2,892	2,805	2,860	2,660	2,829	93.0					
	成果指標(1)	3	%	95.0	99.7	96.7	98.9	94.8	98.9	95.9					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	9,492	12,120	9,707	11,949	9,526	12,145	平成26年度予算執行率(%)	79.7				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	8	9	6	8	8	8	平成26年度の執行率が79.7%となった主な理由は、宿泊訓練の宿泊数減少等により、申請額が予算額を下回ったためです。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	8,700	8,630	8,630	8,810	8,810	8,810					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	18,192	20,750	18,337	20,759	18,336	20,955					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	158,191	192,130	179,775	151,526	143,250	132,627					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	18,192	20,750	18,337	20,759	18,336	20,955						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	185
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		心身障害者団体への運営経費の助成	15	団体	8,665
		ふれあい運動会	1	回	850
		その他（消耗品費、郵券購入費ほか）			11
(2) 事業実績	心身障害者団体への運営経費の一部を助成することにより障害者の方々のより積極的な社会参加の機会を作ることができました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	心身障害者団体（助成団体）は、当初10団体から始まり、平成19年度からは16団体、平成22年度から15団体、平成24年度からは16団体に対して運営活動経費の一部を助成しています。平成25年度からは15団体に助成しています。 親子スポーツ教室に対する助成は、平成20年度で終了しました。 ふれあい運動会は昭和61年に開始し、平成4年からは一般区民を含めた実行委員会形式により実施しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者の自立や社会参加の機会を促進する事業を継続するため、区からの団体助成について現状維持を望む声が強いです。 各事業には一般区民や学生が多く参加しており、福祉教育及びボランティア育成の足がかりとしても意義のある事業となっています。			
	今後の予測	若年障害者の団体加入が減少し、また会員の高齢化も進み、実活動会員の減少が顕著になっています。現状のままでは会員数の減少に歯止めがかからないと予測されることから、会員数の維持、増加について障害者団体連合会や関係機関等と検討していく必要があります。			
評価と課題	団体助成については、各団体で不公平感の無いように、申請について周知を図るとともに、助成金分配基準の再度の見直しを図っていく必要があると思われます。 ふれあい運動会については、区民・団体・行政による実行委員会形式で実施しており、障害者の積極的な社会参加や障害のある人も無い人も自然に交流する地域社会づくりにも貢献しています。また障害者の地域社会への相互理解を推進しています。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	障害者団体活動は、障害者の社会参加だけでなく、情報の共有化など障害者が地域の中で生活していく上で非常に有効な活動であり、また区にとっても、障害者の意見や要望を収集できる貴重な情報源となっていることから、今後も引き続き支援していく必要があります。ただ、一部の団体では高齢化などにより会員数が減少しており、活動自体が硬直化している部分も見受けられるので、財政支援だけでなく、団体活動を周知する場の提供など新規会員加入への支援等を行っていく必要があります。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00181)

事務事業名称 障害者通所施設支援事業			款 04	項 01	目 03	事業 010	整理番号 187			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 181					
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成19年度								
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	一般			
	対象	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業所を運営する法人及びその施設に通所する個人		根拠法令等 (1) (2)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 杉並区障害者通所施設サービス推進事業補助金交付要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者総合支援法に基づき生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のサービス事業所を運営する法人に対し、必要な経費を助成することにより、施設の安定した経営と通所者の負担軽減を図る。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	送迎サービス対象施設数 障害福祉サービス事業所施設数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	サービス推進事業補助金の算定基準に基づき、事業所の運営に必要な経費を助成する。送迎サービスを実施する民営施設に対して、その費用の全部又は一部を補助する。小規模作業所又は精神障害者共同作業所から移行した事業所に対して、施設の借り上げ費を補助する。通所者に対して交通費等の負担軽減を行っている法人に、その費用を補助する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	送迎サービス利用施設通所者数 障害福祉サービス事業所通所者数					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 所	5	6	6	6	5	6	83.3	
	活動指標(2)	2 所	28	28	28	28	28	28	100.0	
	成果指標(1)	3 人	60	60	56	60	40	60	66.7	
	成果指標(2)	4 人	1,188	1,038	1,161	1,043	1,219	1,058	116.9	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	402,067	434,971	408,143	454,836	420,821	458,008	平成26年度 予算執行率(%) 92.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	16	18	18	20	20	23		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.66	1.66	1.42	1.20	1.13	1.13	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,442	14,326	12,255	10,572	9,955	9,955	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	416,509	449,297	420,398	465,408	430,776	467,963		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	83,301,800	74,882,833	70,066,333	77,568,000	86,155,200	77,993,833		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	240,862	244,639	255,964	235,435	251,292	242,320	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	240,862	244,639	255,964	235,435	251,292	242,320		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	175,647	204,658	164,434	229,973	179,484	225,643		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	187
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		通所サービス利用促進事業（送迎サービス支援）	5	所	5,599
		日中活動系サービス推進事業	28	所	251,599
		訓練等給付交通費等助成	29	所	46,912
		訓練等給付施設借上費助成ほか	16	所	116,668
		その他（事務費、郵送料）			43
(2) 事業実績	<p>小規模作業所等から新体系への移行は平成23年度末をもって終了しました。移行した施設に運営費等の助成を行い円滑な運営が行われています。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>送迎支援事業として、平成20年度以降は車両購入費を除いた人件費等の運営費を助成しました。さらに平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎加算額を差し引いた額を補助しました。平成20年度末時点で小規模作業所等は14所が新体系に移行しました。また、平成21年度に2所、平成22年度に6所、平成23年度に3所が移行しました。平成23年度末をもって、新体系への移行が完了しました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>通所施設の増設など、日中活動の場を確保するとともに、今後も通所にかかる交通費の補助を継続してほしいとの声が寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>障害者総合支援法の新体系への移行が完了し、各事業所が補助金に頼らない自立した方向に進むことが期待されます。</p>			
評価と課題	<p>障害者自立支援法（現在の障害者総合支援法）が平成18年に施行されてから、旧法施設、小規模作業所等の新体系への移行が平成23年度で完了し、各事業所の運営も安定してきました。より充実した運営を目指すため、施設の移転などの動きがあります。今後は、通所者の負担軽減なども考慮しつつ、各事業所が補助金に頼らない自立した運営に向けて働きかけていく必要があります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>この事業は、事業者の家賃補助等を行う「訓練等給付施設整備費助成」事業、利用者の交通費や給食費を助成する「訓練等給付交通費及び給食費助成」事業、利用者の送迎支援を行う「送迎支援事業」、運営経費を補助する「障害者日中活動系サービス推進事業」事業等から成っています。いずれの補助金も、各施設の安定した運営を支援するため、引き続き適正な支給事務に努めていく必要があります。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00182）

事務事業名称			公益財団法人 杉並区障害者雇用支援事業団				款	04	項	01	目	03	事業	011	整理番号	188
現担当課名			障害者生活支援課		係名		管理係		連絡先電話番号		2275		昨年度整理番号		182	
上位施策No・施策名											18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成10年度													
	平成26年度担当課名		障害者生活支援課								事業評価区分		一般			
	対象		公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団		根拠法令等		(1)		杉並区公益財団法人に対する助成に関する条例							
							(2)		障害者の雇用の促進に関する法律							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		公益財団法人障害者雇用支援事業団が、その設立目標である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行なうことができるよう、財団運営の安定に資する。		活動指標		指標名（1）		雇用支援対象者数（就労移行支援事業登録者数+新規登録者数）		指標説明		職場定着支援件数			
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		公益財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して、必要な経費を助成する。区市町村障害者就労支援事業を委託し、実施する。		成果指標		指標名（1）		就職者の割合		指標説明		事業団からの就職者数÷雇用支援対象者数				
						指標名（2）		過年度からの継続就労者		指標説明		4月1日時点の利用者のうち、過年度に就職して4月1日時点で就労が継続している者の数				
区分		単位		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成26年度				
				実績		計画		計画 (目標値)		実績		計画		対計画比(%)		
指標	活動指標（1）		1 人		108		120		107		120		125		125 104.2	
	活動指標（2）		2 件		6,105		6,200		5,711		6,000		6,616		6,500 110.3	
	成果指標（1）		3 %		60.0		70.0		72.9		73.0		49.6		70.0 67.9	
	成果指標（2）		4 人		0		290		292		300		467		450 155.7	
事業費		5 千円		68,032		72,370		65,060		72,283		69,482		73,991 平成26年度 96.1 予算執行率(%)		
(内) 投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0 特記事項		
(内) 委託費		7 千円		53,915		58,747		55,882		58,384		57,232		63,136 活動指標指標名(2) について		
職員数	常勤職員数		8 人		0.71		0.71		0.70		0.70		0.68		0.68 平成26年度まで「職場定着支援訪問件数」となりましたが、平成26年度までの件数に訪問以外の電話等の支援も含まれていたため、指標名を「職場定着支援件数」に変更しました。	
	再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
人件費	常勤職員分		11 千円		6,177		6,127		6,041		6,167		5,991		5,991	
	再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0	
	非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0	
総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		74,209		78,497		71,101		78,450		75,473		79,982		
単位あたりコスト (14-6)÷1		15 円		687,120		654,142		664,495		653,750		603,784		639,856		
財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
	国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
	都からの補助金等		18 千円		2,172		1,444		2,183		2,183		2,232		2,232	
	その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0	
	特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		2,172		1,444		2,183		2,183		2,232		2,232	
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		72,037		77,053		68,918		76,267		73,241		77,750		
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 188

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営費助成			12,250
		区市町村就労支援事業委託			57,232
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>平成26年度の事業団からの支援を受けた就職者数は62名と昨年度の79.5%でした。一方新規登録者数は123%増加し、全体の事業団への累計登録者は797名に達しています。また相談件数は119%増の10,004件、定着支援の対象者は123%増の412人です。</p> <p>地域との連携も増えています。就労支援センターに出向いての説明会や今後の定着支援を視野に特別支援学校生徒の実習協力や説明会などを行いました。就労情報の収集として、公共職業安定所の提供する求人情報をオンラインで受ける環境を整備しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年4月から障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が図られました。国の障害者雇用施策の強化により障害者雇用に対する企業意識も高まりました。平成24年度には障害者雇用促進法の改正により、雇用支援センターから、法内の就労移行支援事業に移行しました。平成25年度に財団法人から公益財団法人へと移行しました。就労支援を受ける障害者を障害種別でみると登録者のうち平成24年度精神障害者の割合が36.2%から平成26年度46.6%になり、就職者の内訳でも平成26年度は精神障害者の割合が71.0%と、精神障害者への就労支援が重点になってきています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>精神障害、発達障害、高次脳機能障害、難病など個々の障害特性にあった就労支援のスキルが求められています。また、教育機関からは、就労情報の提供や卒業後の定着支援が求められています。就労している障害者からは、余暇や集いの場を通じての仲間づくりや、個別の定着支援、高齢になった就労障害者への対応が求められています。雇用している企業からはきめ細かい支援や情報提供を必要とされています。地域の障害者施設等からは、地域での働く場の開拓や、就労支援の充実が期待されています。</p>
	今後の予測	<p>平成28年4月1日施行の障害者雇用促進法の改正に伴い、障害者差別の禁止、合理的配慮の提供義務、苦情処理等、障害者の雇用環境の変化が予想されます。また、同改正により平成30年から法定雇用率の算定基礎に精神障害者が加えられることで、今後もさらに障害者雇用が促進されます。また、学校からの就職者が増える中で就労継続支援事業を選択する卒業生がより重度化してくることも予想されます。登録者の中で精神障害者や発達障害者、難病などの登録が今後も増加することも予想されます。さらに、これまで長く就労していた障害者が高齢化により退職し、地域で過ごす場が必要となってきます。</p>
評価と課題	<p>事業団の事業は障害者の就労をめぐる環境の変化に応じるために多様化しています。定着支援の重要性が増し、企業訪問だけでなく、地域の関係機関との連携による生活支援や余暇支援など個別のきめ細かい支援が必要です。また、登録者の中で発達障害を含む精神障害者の割合が増える中で、多様な障害に対応できる就労支援のスキルが必要です。特に、精神障害者の特性から、働きたいという希望を持っていても、就労までの準備が必要な方も多く、保健・医療、地域の相談支援事業所などと連携し、きめ細かい長期的な就労支援が求められています。また、就労している障害者が加齢や定年などにより働き続けることができなくなる事例が出てきています。高齢就労障害者の地域での受け皿についても課題となっています。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>登録対象種別の変化に伴い、多様な障害に対応できる就労支援が求められています。特に、精神障害者や発達障害者に対応したプログラムの実施や、職員の専門性の向上に取り組みます。</p> <p>今後増加していく就労者の定着支援に対応するため、就労者の実態を調査するとともに、地域の関係機関と連携して生活支援に力を入れていきます。</p> <p>就労支援センターや、生活困窮者自立支援法に基づく就労支援など、様々な就労支援機関と役割分担を明確にするとともに連携していきます。</p> <p>特別支援学校卒業生の定着支援を行うために、学校と連携して就労支援を行います。</p>	

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00188)

事務事業名称 障害者福祉タクシー等			款 04	項 01	目 03	事業 017	整理番号 194				
現担当課名 障害者施策課		係名 障害者福祉係	連絡先電話番号 1145		昨年度整理番号 188						
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和50年度									
	平成26年度担当課名	障害者施策課		事業評価区分 一般							
	対象	移動の困難な心身障害者で、各事業の要件に該当する方		根拠法令等 (1) (2)	杉並区心身障害者福祉タクシー事業実施要綱 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	移動に要する費用の一部を助成することにより、歩行困難な心身障害者の外出や社会活動参加を支援する。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	福祉タクシー券利用者数 燃料費助成対象人数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	月5,300円分の福祉タクシー券を支給する。 月62リットルを上限にガソリン代を1リットル当たり50円(軽油30円)助成する。 身体障害者手帳又は愛の手帳の所持者で、常時車いすを利用する方及び寝たきりの方を対象に、リフト付タクシーに利用できる補助券を支給する。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	発行した福祉タクシー券の利用率 支払済み乗車料金÷発行した福祉タクシー券の額面総額						
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	人	6,691	6,700	6,694	6,700	6,699	6,829	100.0	
	活動指標(2)	2	人	1,728	1,730	1,787	1,750	1,863	1,889	106.5	
	成果指標(1)	3	%	83.0	90.0	83.0	90.0	77.5	72.0	86.1	
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	346,243	380,870	368,646	365,626	338,841	378,887	平成26年度 予算執行率(%) 92.7	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 前年度に比べ、タクシー券・リフト付タクシー券の対象者は横ばいとなっていますが、タクシー券については、発行数が減り、それに伴い利用実績も減ったため、執行率が下がりました。燃料費助成制度については、対象者が増えましたが、波及する期間を短縮した影響で、利用実績が下がりました。	
	(内)委託費	7	千円	309,002	337,591	325,958	326,201	301,743	342,223		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.70	1.70	1.20	1.20	1.40		1.20
		再任用職員数	9	人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	1.00	1.00	0.80	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	14,790	14,671	10,356	10,572	12,334		10,572
		再任用職員分	12	千円	3,930	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	2,780	2,780	2,264	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	364,963	398,321	381,782	378,462	351,175	389,459		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	54,545	59,451	57,033	56,487	52,422	57,030		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	3,000	3,000	3,000	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,000	3,000	3,000	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	361,963	395,321	378,782	378,462	351,175	389,459		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	194	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		タクシー乗車券支給対象者		6,699	人	295,490
リフト付タクシー補助券の支給対象者		989	人	14,129		
自動車燃料費助成対象者		1,863	人	28,812		
その他（支給事務費）					410	
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成25年10月から、福祉タクシー券の配布を、半年分ごとの支給方法から、1年分をまとめて支給する方法に変更しました。また平成27年2月発行分からは、偽造対策（ホログラム）を施したタクシー券の配布を開始しました。</p> <p>自動車燃料費助成については、請求の遡及年限を5年から1年に変更したため、実績が大幅に減少しました。</p>				
		<p>福祉タクシー券や自動車燃料費助成の利用登録者は、更新制度を取っていないため、年々増加傾向にあります。</p> <p>リフト付タクシーは、平成21年4月から車いす補助券及びストレッチャー補助券の発行方法等を変更したことに伴い、協定事業者が増加したため、利用機会が拡大され利用回数が伸びています。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>福祉タクシー券は支給額の増額や障害の程度に応じた金額加算の要望があり、自動車燃料費助成についても、助成額を増やして欲しいなどの要望があります。</p> <p>同時に、利用者から助成に対し多くの感謝の声が寄せられており、障害者の外出や社会活動参加に有効な支援となっています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>福祉タクシー券・燃料費の助成制度ともに、障害者の外出機会の拡大や高齢者の心身障害者手帳取得者が増えていることから、今後も利用者増が予測されます。</p> <p>また、高速道路の割引制度の利用の拡大で、燃料費の助成制度利用については、さらに増加する可能性があります。</p>				
	今後の予測	<p>福祉タクシー券・燃料費の助成制度とともに、障害者の外出機会の拡大や高齢者の心身障害者手帳取得者が増えていることから、今後も利用者増が予測されます。</p> <p>また、高速道路の割引制度の利用の拡大で、燃料費の助成制度利用については、さらに増加する可能性があります。</p>				
評価と課題		<p>福祉タクシー券は平成25年10月から、1年分を年に1回送付する方式に変更後、利用登録数は増加している一方で、交付の請求をするタイミングが、個々によってまちまちであることに起因して利用者からの発行依頼数は減少しております。</p> <p>自動車燃料費助成については、平成25年度から平成26年度にかけて、助成費の請求できる遡及年限を5年から1年に変更したため、実績が大幅に減少しました。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方		<p>福祉タクシー券・リフト付タクシー券、自動車燃料費の制度について、障害者の外出機会の支援の拡大のために、引き続き事業内容の検討を進めながら実施していきます。</p> <p>また、偽造券対策についての最新の方法の研究を絶えず行い、不正防止に努め、制度の適正な運用に努めていきます。</p> <p>今後本制度における支給方法や更新制度について、利用者の立場に立った、より良い制度に見直していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00197）

事務事業名称		手話通訳相談の実施			款	04	項	01	目	03	事業	026	整理番号	203	
現担当課名		杉並福祉事務所			係名	高井戸事務所管理係			連絡先電話番号	4312		昨年度整理番号	197		
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和47年度													
	平成26年度担当課名	杉並福祉事務所							事業評価区分	一般					
	対象	福祉相談に来所した聴覚障害者			根拠法令等	(1)		身体障害者福祉法第11条、11条の2		(2)		杉並区聴覚障害者及び言語機能障害者相談事業運営要綱			
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	手話通訳相談により聴覚障害者の利便性を向上させる。			活動指標	指標名(1)		手話通訳相談件数		指標説明					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	聴覚障害者が福祉事務所窓口で相談するとき、手話通訳者が対応する。			成果指標	指標名(1)		手話通訳相談数対前年比		指標説明		今年度実績 ÷ 前年度実績			
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	件	28	55	35	55	38	55	69.1					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	%	58.3	196.0	125.0	157.0	108.6	148.0	69.2					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	388	411	399	411	405	411	平成26年度 予算執行率(%)	98.5				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0	計画(目標値)より 実績が下回った理由 該当者の来所が見込み より少なかったため。					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.16	0.16	0.16	0.18	0.19	0.19					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.05	0.05	0.05	0.02	0.05	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,392	1,381	1,381	1,586	1,674	1,674					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	138	139	139	57	142	0					
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	1,918	1,931	1,919	2,054	2,221	2,085						
	単位あたりコスト (14-6) ÷ 1)	15	円	68,500	35,109	54,829	37,345	58,447	37,909						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	1,918	1,931	1,919	2,054	2,221	2,085						
受益者負担比率 (16 ÷ 14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 203

平成26年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	手話通訳者の謝礼		3	人
(2) 事業実績	平成26年度で38件の手話通訳の利用がありました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から福祉事務所相談窓口での手話通訳（各所福祉事務所月2回）を実施しています。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	手話通訳者がいることで、相談などがスムーズに進み感謝されています。一方、聴覚障害者団体からは、手話通訳者の配置日数を増やしてほしいとの要望があります。
	今後の予測	聴覚障害者にとって福祉事務所に手話通訳者が配置されていることの重要性は変わりませんが、障害者相談業務体制の再構築に伴って、福祉事務所での手話通訳利用者数は少なくなっていくと思われます。
評価と課題	各種障害者サービスの相談窓口である福祉事務所に手話通訳者が配置されていることにより、聴覚障害者は手話通訳者を介しスムーズに担当職員と相談することができ、必要なサービスの申請手続き等を円滑に行うことができます。手話通訳者を介した相談を行っていることについて、さらなる区民周知に努めていくことが課題です。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	福祉事務所における相談業務体制の見直しに合わせ、手話通訳相談の区民周知方法や実施体制について検討していきます。	

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00198)

事務事業名称 障害者福祉会館事業運営			款 04	項 01	目 03	事業 027	整理番号 204			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 198					
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度								
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課		事業評価区分 一般						
	対象	障害者福祉会館運営協議会及び事業の利用者		根拠法令等 (1)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例					
				(2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害者福祉会館の部屋の貸し出し等、利用頻度を高める。障害者福祉会館利用者の健康増進、相互交流を図る。		活動指標 指標名(1)	会議室の利用件数					
			指標説明	会議室の利用延べ人数						
			指標名(2)							
			指標説明							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	障害者福祉会館の運営に関し、業務を委託する。福祉会館まつり等行事、各種教室事業等自主事業への補助		成果指標 指標名(1)	会議室の開館日に対する利用率						
			指標説明							
			指標名(2)							
			指標説明							
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 件	3,921	4,000	3,976	4,000	3,766	4,000	94.2	
	活動指標(2)	2 人	55,366	56,000	54,070	56,000	52,275	56,000	93.3	
	成果指標(1)	3 %	54.4	60.0	54.9	60.0	52.1	60.0	86.8	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	37,389	72,075	67,716	66,342	65,351	68,514	平成26年度 予算執行率(%) 98.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 受益者負担分については、地域生活支援事業(ひろば事業)が平成25年度から区直営になったことから、平成25年から0円となりました。	
	(内)委託費	7 千円	33,297	67,984	63,626	62,251	61,261	64,414		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.71	0.71	0.72	0.60	0.45		0.45
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	6,177	6,127	6,214	5,286	3,965		3,965
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	43,566	78,202	73,930	71,628	69,316	72,479		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,111	19,551	18,594	17,907	18,406	18,120		
	財源	受益者負担分	16 千円	37	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	37	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	43,529	78,202	73,930	71,628	69,316	72,479		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 204

平成26年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	施設運営管理委託	1	館
	区の補助事業による福祉会館まつり等各種催物助成			3,000
	運営協議会運営補助			1,087
	会館運営事務費			19
	その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>障害者福祉会館運営協議会に対し、施設の運営管理を委託しています。中心的な業務としては、障害者による貸室の受付業務や館内清掃業務があります。また、福祉会館まつりやレクリエーション等の協議会独自事業に対しても助成を行っています。各種の催し物には毎年安定的に参加があり、特に福祉会館まつりへは、毎年1,200～1,300名の参加があります。</p>			

事業開始当初から現在までの変化	<p>障害者福祉会館運営協議会は従来から区の委託事業とともに自主事業として福祉会館まつりや各種催物を実施しています。一方で平成17年度まで直営で実施していた「ひろば事業」と「相談支援事業」については、平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として同運営協議会に委託して行ってきました。しかし平成25年度から相談体制の再構築等により「ひろば事業」は区の直営に戻り、「相談支援事業」は委託を終了しました。</p>
事業環境の変化 事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>福祉会館まつりは、障害者を始め多くの一般区民の参加もあり、好評を博しています。平成23年度の福祉会館開設30周年記念に続き、平成24年度は区制施行80周年とタイアップした取組みとして開催し、一般区民・障害者ともに多数の参加がありました。また、各種講座にもより多くの方が参加しやすいよう、クラス数や対象者の拡大等が求められました。講座や催し物の内容充実、運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、地域への開放などについて、更なる検討が区民から期待されています。</p>
今後の予測	<p>区の相談支援体制の再編により、運営協議会に委託していた相談支援事業は、平成25年度から民間法人への委託による事業と変わり、また、地域活動支援センターの運営も区直営となりました。同会館内で様々な事業が主体も様々に実施されることとなり、管理業務全般と自主事業の充実に力を注ぐこととなります。会館利用者の送迎バス運行については、高次脳機能相談事業、生活リハビリ事業、地域活動支援センター事業を含めた共同利用であることから、運営協議会で適正な運行管理を行います。講座や催し物の内容充実、運営協議会に加盟していない障害者団体の参加、地域への開放などについて、更なる検討が区民から期待されています。</p>
評価と課題	<p>運営協議会は、区の受託事業として手話講習会や要約筆記講習会などを運営し、手話通訳者等の養成に貢献しています。また、パソコン講習会等、障害者の自立や社会参加を促進する事業も行い、区の障害者支援事業において重要な役割を担っているといえます。今後も区と連携して、障害当事者や支援者の活発な活動の拠点として、より一層障害者支援の推進に努めていくことが必要です。</p>

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
	今後の進め方	<p>運営協議会と十分に協議し、各種講習会・催し物等の内容の充実や貸室利用率の向上を図っていきます。</p>	

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00199）

事務事業名称 視覚障害者会館事業運営			款 04	項 01	目 03	事業 028	整理番号 205			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 199					
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度								
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課		事業評価区分 一般						
	対象	はり、きゅう、マッサージの免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用が困難な人 視覚障害者及び家族、ボランティア団体		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	三療（はり、きゅう、マッサージ）の免許を有する視覚障害者で、 自営や雇用されることが困難な人に施術の場を提供し、 開業若しくは雇用されるよう自立の支援を行う。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	三療（はり、きゅう、マッサージ）の利用者数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	三療（はり、きゅう、マッサージ）の施術の場の提供、 視覚障害者向け講習会の実施、施設の貸し出しを行う。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	利用率 三療施術実施時間 ÷ 年間三療施術実施可能時間					
区分		単位	平成24年度実績	平成25年度計画	平成25年度実績	平成26年度計画 （目標値）	平成26年度実績	平成27年度計画	平成26年度対計画比（%）	
指標	活動指標（1）	1 人	1,442	2,000	1,309	2,000	1,368	1,800	68.4	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3 %	28.0	25.0	31.0	30.0	27.6	30.0	92.0	
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	17,944	18,238	18,238	18,173	18,172	15,720	平成26年度予算執行率（%） 100.0	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	103	103	0	0	0	特記事項 国・都から受ける補助金「地域生活支援事業補助金」の盲人ホーム運営部分を平成26年度から「視覚障害者会館事業運営」の特定財源とする。 また、平成27年度から運営管理を指定管理者制度から委託契約に変更したため、維持管理経費を委託料から除いた。	
	（内）委託費	7 千円	17,942	18,135	18,135	18,173	18,172	15,720		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23		0.23
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,088	2,071	1,985	2,026	2,026		2,026
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	20,032	20,309	20,223	20,199	20,198	17,746		
	単位あたりコスト (14-6) ÷ 1	15 円	13,892	10,103	15,371	10,100	14,765	9,859		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	6,728	5,337		5,609
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	3,384	2,746		2,805
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	10,112	8,083	8,414		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	20,032	20,309	20,223	10,087	12,115	9,332		
受益者負担比率 (16 ÷ 14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	205	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		管理運営委託（指定管理者）		1	所	18,172
(2) 事業実績	<p>視覚障害者会館は、平成18年度以降、NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会を指定管理者として、盲人ホーム事業としての視覚障害者の自立援助のための講座の開催、三療施術を実施しています。平成26年度実績、点字講習会20回、パソコン講習会6回、プレクストーク講習会4回、料理講習会10回、文化講座1回、三療施術講習会2回、無料マッサージ1回、はり・マッサージ施術実績292回1,368名。</p>					
	その他（ ）					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>指定管理者であるNPO法人杉並区視覚障害者福祉協会の前身は、任意団体の杉並区視覚障害者福祉協会で、創立以来70年の伝統ある団体であり、当会館の前身の盲人会館を含めて運営に深くかかわってきました。平成18年度から平成26年度まで、指定管理者として視覚障害者会館の運営を担っています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会館が実施している各種講座、三療施術講習会は利用者に概ね好評です。</p>				
	今後の予測	<p>様々な制度改正が行われる中、視覚障害者に対するコミュニケーション支援が、ますます重要になっていくものと予想されます。</p>				
評価と課題	<p>視覚障害者会館は、視覚障害者の自立更生を図り、交流の場を提供する数少ない支援施設です。NPO法人杉並区視覚障害者福祉協会が平成18年度から平成26年度まで指定管理者として、障害特性への理解や配慮など専門的な対応で、協定に基づく業務を着実に行ってきました。平成26年度に行った指定管理の検証では、会館利用者の高齢化や民間のクイックマッサージ市場の拡大などにより、区民利用実績は減少しており、指定管理者制度の活用効果が得られていないという結果になりました。平成27年度からは「業務委託」として実施することになりますが、あらためて視覚障害者に対するコミュニケーション事業全体の中で整理検討する必要があります。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>はり・灸・マッサージの資格をもった視覚障害者に、施術の場を提供するとともに、各種講座等を実施することで、視覚障害者の社会参加等を援助していく必要があります。また、同時に、杉並区視覚障害者福祉協会会員以外の視覚障害者に対して、各種講座等が周知されるように連携を図っていきます。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00200 ）

事務事業名称		障害者交流館運営			款	04	項	01	目	03	事業	029	整理番号	206	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	200		
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 7年度													
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課			事業評価区分	一般									
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者及び受託者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例							
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者、障害者団体及び障害者福祉ボランティア等に施設を貸出し、地域における自主的な活動を通じて、自立と社会参加を促す。			活動指標	指標名（ 1 ）		利用回数							
					指標説明		利用人員								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の維持管理、運営等を杉並区障害者団体連合会に委託する。			指標名（ 2 ）	指標説明										
				成果指標	指標名（ 1 ）		利用率								
					指標説明		利用回数 ÷ 年間利用可能部屋数								
				指標名（ 2 ）	指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（ 1 ）	1 回	3,850	3,800	4,007	4,000	3,787	3,800	94.7						
	活動指標（ 2 ）	2 人	51,517	56,000	55,888	58,000	53,474	56,000	92.2						
	成果指標（ 1 ）	3 %	62.0	65.0	61.0	65.0	55.5	65.0	85.4						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	33,686	35,436	32,155	35,030	31,145	35,499	平成26年度 予算執行率(%)	88.9					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	33,686	35,200	31,920	35,030	31,145	35,499	執行率90%未満の理由 障害者交流館の運営委託料は、併設している施設の日常清掃分が上乘せされている。全体の委託料の執行率は91%だが、当課予算分については最終的な精算処理の関係で88.9%となっている。						
	職員数	常勤職員数	8 人	0.24	0.24	0.23	0.23	0.23	0.23						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,088	2,071	1,985	2,026	2,026	2,026						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	35,774	37,507	34,140	37,056	33,171	37,525							
	単位あたりコスト (14-6) ÷ 1)	15 円	9,292	9,870	8,520	9,264	8,759	9,875							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	35,774	37,507	34,140	37,056	33,171	37,525							
受益者負担比率 (16 ÷ 14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	206
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	管理運営委託（和田）	1	館	14,064
		管理運営委託（高円寺）	1	館	17,081
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の事業運営は、障害者団体連合会に委託して行っています。平成24年度に指定管理者制度から業務委託に形態を変更しました。主な事業は会議室等の貸出業務で、平成26年度の高円寺障害者交流館の利用率は年平均67パーセントです。</p> <p>障害者団体連合会は、団体自主事業として、わいわい和田まつりや高円寺交流館まつりを開催するとともに、区主催の障害者を対象とする催し物等に参加するなど、活発な活動をしてきました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>和田障害者交流館については平成7年度の開設から杉並区障害者雇用支援事業団に、高円寺障害者交流館については平成14年3月の開設から杉並区障害者団体連合会に運営を委託してきましたが、平成18年度からは杉並区障害者団体連合会を指定管理者として管理運営等を行ってきました。平成24年度からは業務委託に形態が変更となっています。区としては、建物・設備等の維持管理を担ってきました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>特段意見・要望はありません。</p>			
	今後の予測	<p>障害のある方やボランティア活動をしている方々の活動の場及び交流の場としての役割を果たし、地域での障害者の自立を促していく必要があります。</p>			
評価と課題		<p>和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館は、多くの障害者に交流の場を提供するとともに、地域に支えられた交流館まつりをはじめ、会議室を広く一般に開放した目的外使用も盛んで、地域に密着した障害者施設となっています。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>会議室等の利用率は概ね良好ですが、更なる施設の充実・利用促進に向け、PR方法について受託者と協議をすすめていきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00201)

事務事業名称			すぎのき生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	030	整理番号	207
現担当課名			障害者生活支援課				係名	すぎのき生活園				連絡先電話番号	3399-8953	昨年度整理番号	201	
上位施策No・施策名											18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	一般			
	対象	すぎのき生活園利用者 (利用者=重度知的障害者)			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律								
						(2)		杉並区立すぎのき生活園運営要綱								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害の程度の重い知的障害者に対し、生活援助及び各種活動の支援を行い、日々の生活の充実と社会生活能力の向上を図る。			活動指標	指標名(1)		日常生活支援活動における利用者数								
					指標名(2)		日常生活支援活動における延べ利用者数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	重度の知的障害がある利用者に対して、日常生活動作(更衣・排泄・食事・移動等)の介助及び自立能力向上への支援を行う。 送迎・給食・栄養指導・健康管理をはじめ、軽作業、ウォーキング、畑作業、各種行事等を実施する。			成果指標	指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合									
					指標名(2)		出席率									
					指標説明		延べ通所人数÷(登録者数×開所日)									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	82	84	79	84	85	84	101.2						
	活動指標(2)	2	人	20,090	20,580	19,954	20,269	17,440	20,580	86.0						
	成果指標(1)	3	%	98.0	100.0	98.3	100.0	98.0	100.0	98.0						
	成果指標(2)	4	%	85.0	100.0	86.2	100.0	84.1	100.0	84.1						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	95,775	98,150	95,433	110,806	108,173	104,852	平成26年度予算執行率(%)	97.6					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	79,995	81,229	79,885	93,844	92,144	86,447							
	職員数	常勤職員数	8	人	45.00	44.00	45.26	44.00	43.23	42.50						
		再任用職員数	9	人	1.00	2.00	2.01	1.00	2.04	1.00						
		非常勤職員数	10	人	5.50	6.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	391,500	379,720	390,594	387,640	380,856	374,425						
		再任用職員分	12	千円	3,930	7,720	7,759	4,050	8,262	4,050						
		非常勤職員分	13	千円	15,125	16,680	2,780	2,830	2,830	2,830						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	506,330	502,270	496,566	505,326	500,121	486,157							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	6,174,756	5,979,405	6,285,646	6,015,786	5,883,776	5,787,583							
	財源	受益者負担分	16	千円	204,419	199,276	199,077	201,750	201,267	199,276						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	204,419	199,276	199,077	201,750	201,267	199,276							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	301,911	302,994	297,489	303,576	298,854	286,881							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	40.4	39.7	40.1	39.9	40.2	41.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	207
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託	244	日	62,164
		給食調理業務委託	243	日	25,040
		日常生活活動	85	人	12,146
		利用者健康管理	85	人	3,213
		その他（宿泊行事、杉実祭、社会見学 ほか）			5,610
	(2) 事業実績	<p>重度の知的障害がある利用者に対して、生活介護を行いました。日常生活動作（更衣・排泄・食事・移動等）の支援をはじめ、軽作業・ウォーキング・畑作業等の活動、栄養指導・健康管理、バスでの送迎等を実施しました。また、杉実祭などの行事を実施し、地域との交流を図りました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>東京都杉並児童学園を前身として、昭和55年に区へ移管され、平成21年に障害者自立支援法に基づく生活介護施設、平成25年度には障害者総合支援法に基づく生活介護施設になりました。障害の多様化、重度化が進む中で、行政、民間ともに各種サービスが拡充し、グループホームから通う当園利用者も増加しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>老朽化に伴う施設改修、送迎バスの拡充、宿泊事業の継続、相談支援の充実、福祉支援所の円滑な運営について、当園保護者会から要望が出ています。</p>			
	今後の予測	<p>障害者人口の増加に伴い、近隣の特別支援学校においても在籍者は増加傾向にあることから、今後当園への通所希望者が増加すると考えられます。また、障害者とその保護者の高齢化に伴い、グループホームからの通所者が増加する見込みです。</p>			
	評価と課題	<p>区内唯一の公的な重度知的障害者施設として着実に通所希望者を受け入れ、安定的な運営を行ってきました。一方、定員には余裕がなく、今後、同種の民間施設の設立を促進し、運営を支援する必要があります。平成26年度は民間の重度知的障害者施設の新規設立に先立って、当該職員に実習の場を提供するなど、指導的な立場から支援を行いました。障害者総合支援法の施行に伴うサービスの拡充や地域移行が進展する中、相談支援専門員及びサービス提供事業所、区関係所管等との連携強化が今後の課題です。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>今後も障害者総合支援法に基づく生活介護施設として円滑な運営を行います。障害の多様化、重度化が進む中で、さらに専門性・利便性を高めていくため、職員研修、相談支援専門員等との連携、医療機関等との協力体制の強化等を推進していきます。</p>			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00202)

事務事業名称			こすもす生活園事業運営			款	04	項	01	目	03	事業	031	整理番号	208	
現担当課名			障害者生活支援課			係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	202		
上位施策No・施策名											18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 5年度														
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課										事業評価区分	一般			
	対象	こすもす生活園の利用者(利用者) = 重度身体障害者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律								
						(2)		杉並区身体障害者通所施設条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう支援する。家族を含めた利用者の24時間の生活を見据え健康管理、環境整備等、関係機関とのコーディネートを行う。			活動指標	指標名(1)		登録者数 = 生活介護登録者数 + 自立訓練登録者数								
					指標名(2)		延利用者数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者が自分の持っている能力を発揮し、地域社会で生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加を支援する。個別支援計画を策定し、介護・支援、給食・送迎、機能訓練、入浴、社会適応支援、スポーツ・レクリエーション、創作的・生産的活動、健康管理、医療的ケア、相談・支援、地域交流・広報活動などを行う。			成果指標	指標名(1)		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合									
					指標名(2)		出席率									
					指標説明		延べ通所人数 ÷ (登録者数 × 開所日)									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 人	25	25	25	26	26	26	100.0							
	活動指標(2)	2 人	4,583	5,856	4,849	5,856	4,743	5,751	81.0							
	成果指標(1)	3 %	97.0	100.0	96.0	100.0	92.0	96.0	92.0							
	成果指標(2)	4 %	77.9	90.0	82.8	90.0	80.0	85.0	88.9							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	48,572	52,520	51,962	54,319	53,412	54,692	平成26年度予算執行率(%)	98.3						
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	7 千円	45,477	48,896	48,577	50,611	50,137	50,815								
	職員数	常勤職員数	8 人	18.84	18.72	17.55	18.00	17.76	17.75							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	1.00	0.80	2.00							
		非常勤職員数	10 人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	163,908	161,554	151,457	158,580	156,466	156,378							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	4,050	3,240	8,100							
		非常勤職員分	13 千円	5,500	5,560	5,560	5,660	5,660	5,660							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	217,980	219,634	208,979	222,609	218,778	224,830								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	8,719,200	8,785,360	8,359,160	8,561,885	8,414,538	8,647,308								
	財源	受益者負担分	16 千円	65,896	72,361	69,473	72,361	65,412	72,361							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	65,896	72,361	69,473	72,361	65,412	72,361								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	152,084	147,273	139,506	150,248	153,366	152,469								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	30.2	32.9	33.2	32.5	29.9	32.2									

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	208	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託		244	日	37,451
		給食調理業務委託		244	日	12,808
		利用者健康管理		26	人	950
		医療的ケア		6	人	1,333
		その他（日常生活活動費）				870
	(2) 事業実績	<p>今年度は新たに販売体験活動に取り組み、他にエッセンシャルオイルを使用した活動やゆうゆう館の読み聞かせサークルと共同で取り組みを行いました。また、小学生を対象とした草木染には14名が参加しました。中学生10名や銀行新人職員4名の職場体験や介護等体験者11名の他、理学療法士、介護福祉士実習生、地域ボランティア等、積極的に受け入れました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成5年、重度の身体障害者を対象とする法外の通所施設としてスタートし、平成16年に支援費制度が開始した際、デイサービス事業を行う法内の施設へと移行しました。障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施してきました。平成25年4月から障害者総合支援法にもとづく生活介護と自立訓練の2事業となりました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>利用者の加齢による機能低下とともに医療的ケアが必要となる利用者がいます。さらに家族の高齢に伴う生活環境の変化への対応の必要となっています。専門性の高いサービス提供が求められており、ヘルパー事業所や関係機関からの人材育成の協力や専門分野での連携が求められています。災害時や緊急時のわかりやすい連絡体制・連絡方法の検討・提示が求められています。震災時に周辺に住んでいる障害者の福祉救済所としての開設が求められています。また、地域福祉の拠点としての役割も期待されています。</p>				
	今後の予測	<p>特別支援学校卒業生等の障害が重度、重複化傾向にあります。区内にある重度身体障害者通所施設の充足はどの施設も定員いっぱいであることから、今後卒業生の状況やニーズを踏まえて、施設整備を行い、日中の活動の確保をしていく必要があります。また、医療的ケアの必要な対象者の増加や人工呼吸器装着者への対応等、医療的ケア体制の充実が必要です。加齢により機能が低下し、介護の度合いが増えてきています。様々な専門職が関わる総合的な支援が必要です。</p>				
	評価と課題	<p>利用者の障害の重度化及び重複化とともに加齢による機能低下の傾向が顕著になっています。日々の健康チェックや身体状況の変化に留意した支援を行ってきました。今後はさらにそれぞれの利用者の健康課題について理解を深め、予防的対応や適切で専門的な支援を行うため、様々な専門職が関わりチームアプローチ支援が必要です。家族の高齢化により、利用者・家族の病気や緊急時の対応が遅れてしまう例が見られます。家族内のキーパーソンがいない例があるため、今後は緊急時の連絡先やキーパーソンとなる人材の把握に努めることが大切です。また、関係機関と役割を分担し、タイムリーな対応ができるよう情報の共有が必要です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	<p>障害の重度化及び重複化、加齢による機能低下によって介助量が増え、きめ細かな対応が必要になっているため、支援に関わる情報共有をていねいに行うとともに、支援体制について見直しを行います。障害の重度化及び重複化の中で利用者の車いすが大型化しています。活動スペースが限られるなかで、各活動室について点検し環境整備が必要です。また、活動を行う際の動き方、導線を見直すことが大切です。機能低下等、身体状況の変化により通所バスに長時間乗ることが難しい利用者がでており、今年度他施設から移行した利用者がいます。緊急時や震災時の対応等、それぞれの利用者の状況に合わせた施設利用について相談を進めていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00203)

事務事業名称			なのはな生活園事業運営				款	04	項	01	目	03	事業	032	整理番号	209	
現担当課名			障害者生活支援課				係名			なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415	昨年度整理番号	203	
上位施策No・施策名											18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分		既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成 9年度														
	平成26年度担当課名		障害者生活支援課				事業評価区分		一般								
	対象		なのはな生活園の利用者 (利用者=重度身体障害者)				根拠法令等		(1) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		日常的なさまざまな活動や経験を通して、園の利用者である重度の身体障害者が、地域社会の中で生き生きとした生活を送ることができるようにする。 園の利用者の健康を維持するため、健康管理の支援や健康状態のチェック・医療的ケアを実施する。				活動指標		施設登録人数(生活介護登録人数+自立訓練登録人数)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		利用者が自分の持っている能力を十分発揮し、地域社会において生き生きとした生活ができるよう、個々のニーズに基づき自立と社会参加の促進を図る。 ・ 個別支援計画の策定・実施、機能訓練、医療的ケア、入浴サービス、バス送迎、給食提供などを行う。				指標名(1)		延べ通所者人数								
						指標名(2)		成果指標									
						指標説明		個々の利用者の年間個別支援計画に対して成果のあった利用者の割合 成果のあった利用者÷利用者数									
						指標名(2)		出席率									
						指標説明		延べ通所者人数÷(登録者数×開所日)									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	人	31	33	33	34	35	36	102.9							
	活動指標(2)	2	人	5,647	6,832	5,750	6,832	5,969	7,564	87.4							
	成果指標(1)	3	%	97.0	100.0	96.0	100.0	97.0	100.0	97.0							
	成果指標(2)	4	%	82.3	100.0	84.0	100.0	87.0	100.0	87.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	51,454	52,567	52,132	52,508	52,024	64,174	平成26年度 予算執行率(%)	99.1						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	47,990	47,554	47,251	48,395	47,993	59,952								
	職員数	常勤職員数	8	人	22.00	22.00	20.50	20.50	20.50	22.50							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	1.00	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	191,400	189,860	176,915	180,605	180,605	198,225							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	2,750	5,560	5,560	5,660	2,830	5,660							
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	245,604	247,987	234,607	238,773	235,459	268,059								
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	7,922,710	7,514,758	7,109,303	7,022,735	6,727,400	7,446,083								
	財源	受益者負担分	16	千円	80,580	88,770	82,968	85,470	87,100	85,793							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	80,580	88,770	82,968	85,470	87,100	85,793								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	165,024	159,217	151,639	153,303	148,359	182,266								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	32.8	35.8	35.4	35.8	37.0	32.0									

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	209	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		送迎用バス運行業務委託	244	日	34,614	
		給食調理業務委託	244	日	13,723	
		利用者健康管理	34	人	1,098	
		医療的ケア	6	人	1,427	
		その他（日常生活活動・行事特別活動ほか）			1,162	
(2) 事業実績	<p>利用者の通所手段の確保と、個々に合わせた食形態と栄養摂取の提供を行いました。利用者の送迎と給食は民間会社に委託し職員と連携を取りながら実施しています。定期的に医療相談を実施し、健康チェックや医療機関への紹介など利用者の健康管理を行いました。また、医療的ケアの必要な利用者には、医師からの指示のもと、看護師や福祉職員がケアを実施し、活動の機会を保障することができました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成9年重度の身体障害者を対象とした法外の通所施設としてスタート。平成16年に支援費制度開始の際デイサービス事業を行う法内の施設へと移行。平成18年障害者自立支援法施行後は、生活介護事業と自立訓練事業を実施。平成25年4月から障害者総合支援法に基づいた運営を実施。利用者及び家族の高齢化に伴い、家庭への支援の必要性や支援内容の多様性が求められてきています。また、福祉制度の改正により支援者との連携が重要になっています。特別支援学校卒業生の障害が重度・重複化の傾向にあり、通所施設での医療的ケア体制の充実などが必要となっています。また、受け入れる通所施設数が不足しており、その確保が課題となっています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>利用者の加齢による機能低下や利用者の健康状態に即したサービスの充実が求められています。家族の高齢化に伴う生活環境の変化へ対応したきこまやかな支援が求められています。震災時等非常時の速やかな連絡体制と共に福祉救済所としての整備が求められています。医療的ケアなど重度の障害を有する方の日中活動の場としての役割が求められています。</p>				
	今後の予測	<p>区内の重度障害者施設は現在ほぼ満員であり、今後の特別支援学校卒業生を受け入れる新規施設の確保が求められています。在校生の数値から需要を予測し、在宅者を出さない計画が必要です。利用者の加齢等で重度化が進み医療的ケア対象者の増加が見込まれます。既存施設での受け入れの体制整備と共に、医療型施設の確保が求められます。</p>				
評価と課題	<p>利用者である重度の身体障害者に対し、個々に合わせた活動や様々な経験ができるように計画し支援したことで、楽しく充実した生活を送ることができています。個々の状態の変化やニーズに合わせたプログラムの見直しや工夫が必要です。看護師を中心に利用者の健康管理や医療的ケアを実施したことで、健康に安定して通所することができました。利用者の障害の重度化や多様化に合わせて、医師からの助言や医療面の体制の充実が求められています。職員の交代のある中で、職務を繋げスキルアップしていくことが重要です。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>利用者や家族のニーズを把握し、サービスの内容や支援方法について見直しを行います。利用者のサービス等利用計画作成にあたり、相談事業所と連携を取りながら、個々に合わせた支援が提供できるよう対応します。医療的ケア利用者の対象者が増えている為、施設の職員体制の見直しや充実を図るとともに、区内医療機関との連携体制の構築に向け働きかけを行います。重度障害者の通所の場について需要予測を見ながら、計画的に確保する為の検討をしていきます。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00204）

事務事業名称 障害者の入所・通所施設の運営助成			款 04	項 01	目 03	事業 033	整理番号 210				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273		昨年度整理番号 204						
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成21年度									
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般					
	対象	民営化した障害者通所施設等を運営する法人		根拠法令等 (1) (2)	杉並区重度知的障害者通所施設整備・運営に関する補助要綱 障害者支援施設マイルドハート高円寺「なでしこ」運営費補助要綱						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	民営化した重度身体障害者通所施設や新たに民間が開設した重度知的障害者通所施設が、区立生活園とともに重度障害者の受け入れに心えていく。運営経費の一部を補助することにより、施設が安定して運営できるよう図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	利用者登録人数（年度当初） 年間延べ利用者数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	重度身体障害者施設においては、特に経費を要する医療的ケアにかかる経費、及び送迎バス運行の経費を補助する。重度知的障害者施設においては、施設運営にかかる施設借上げ経費や非常勤職員人件費等の運営経費の一部を補助する。障害者通所施設においては、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	定員に対する年度末の登録者数の割合 年度未登録者数÷定員(5施設の計) 1日当たり平均利用者数 年間延べ利用者数÷年間開園（所）日数（5施設の計）						
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1	人	117	120	117	120	125	138	104.2	
	活動指標（2）	2	人	25,242	26,000	24,790	26,000	27,444	30,000	105.6	
	成果指標（1）	3	%	95.8	100.0	100.8	100.0	92.9	100.0	92.9	
	成果指標（2）	4	人	83	100	100	100	112	115	112.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	90,921	95,210	90,966	104,115	100,196	113,088	平成26年度 予算執行率(%) 96.2	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成26年9月から重度知的障害者通所施設が1所開設しました。	
	(内) 委託費	7	千円	0	0	0	0	0	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.37	0.37	0.35	0.35	0.34		0.34
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	3,219	3,193	3,021	3,084	2,995		2,995
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	94,140	98,403	93,987	107,199	103,191	116,083		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15	円	804,615	820,025	803,308	893,325	825,528	841,181		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	94,140	98,403	93,987	107,199	103,191	116,083		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	210	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		重度身体障害者通所施設運営助成		1	所	53,925
		重度知的障害者通所施設運営助成		3	所	33,213
		障害者通所施設の送迎サービス助成（あけぼの作業所分）		1	所	13,058
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>重度身体障害者施設については、運営経費のうち、医療的ケアにかかる非常勤職員人件費（指導医、看護師等）及び送迎バス運行にかかる経費の一部を補助しました。</p> <p>重度知的障害者施設については、施設運営費のうち、非常勤職員人件費、施設賃借料、送迎にかかる経費等の一部を補助しました。</p> <p>障害者通所施設については、施設利用者の通所のための送迎サービスに要する経費の一部を補助しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>重度の身体障害者通所施設については、利用者の増加に伴い受け入れ枠の拡大が求められていましたが、平成21年度、区の補助等を受けて社会福祉法人による施設が開設されました。</p> <p>重度の知的障害者通所施設についても、定員超過が見込まれること、施設が地域的に偏在していることを背景に、新たな施設の設置が望まれていましたが、区の助成を受けて平成21年度に1所、平成23年度に1所、平成26年度に1所が開設されました。</p> <p>平成24年度から送迎加算が報酬化されたため、送迎サービスに要する経費の補助については、送迎加算額をさしひいた額で補助しました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>重度知的障害者通所施設と重度身体障害者通所施設の開設により、多くの利用者が充実した日中活動に参加でき、大変喜ばれています。</p> <p>区立施設の利用者がほぼ定員に達している中で、今後特別支援学校の卒業者等の日中活動の場や入所支援の需要が知的障害者、身体障害者ともに増加し、施設の確保が求められます。</p>				
	今後の予測	<p>重度障害者に対応した重度身体障害者入所施設1所、重度知的障害者通所施設3所がすでに区内に開設していますが、今後もさらに障害者の高齢化等に伴う重度化が進んでいくことが予測され、施設の確保が必要です。</p>				
評価と課題	<p>運営経費の一部を補助することにより、安定的な施設運営に貢献しました。</p> <p>重度身体障害者施設については、区立施設はほぼ定員に達しており、早急に施設の整備が必要です。</p> <p>また、利用者の高齢化に伴う医療的ケアの増加も見込まれます。</p> <p>重度知的障害者施設についても、今後の利用者の増加を踏まえて、抜本的な施設の整備が必要です。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>重度の身体障害者施設及び重度の知的障害者施設の今後の整備方法とあわせて、この事業もみなおしていきます。</p> <p>補助金の交付に際しては、実績報告書等により施設で実施される事業内容の把握及び運営状況の精査に努めていきます。</p>					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00205）

事務事業名称 障害者の就労支援事業			款 04	項 01	目 03	事業 034	整理番号 211				
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係		連絡先電話番号 2274		昨年度整理番号 205					
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成16年度	実行計画事業 目標 04 施策 18 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般					
	対象	就労を希望する障害者		根拠法令等	(1)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律					
					(2)	杉並区障害者職場実習実施要綱					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	障害者施設等で働く障害者に対し、様々な取り組みや支援を行ない一般就労を進めていく。障害者施設で働く障害者の自立の促進のために、工賃の向上を目指す。			活動指標	職場体験実習をした人数					
				指標名（1）							
				指標説明	障害者施設のカウンセリング実施事業所数						
				指標名（2）							
				指標説明							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	就労を希望する障害者に対し、実習の場の提供を障害者雇用支援事業団と連携して行う。ワークチャレンジ事業を通じてより実践的な就労体験の場を提供する。障害者施設の工賃の向上に必要なアドバイス等が受けられるカウンセリングの実施に加え、障害者施設で構成される任意団体への補助を行う。成人期発達障害者支援事業の一環として、職業準備プログラムを実施する。										
			成果指標	民間作業所、障害者雇用支援事業団、特別支援学校から就職した人数							
			指標名（1）								
			指標説明	区内障害者施設の平均工賃							
			指標名（2）								
			指標説明	区内28か所の就労継続事業所の総工賃額÷工賃を支払った人数							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 人	29	58	31	53	39	53	73.6		
	活動指標（2）	2 所	3	3	3	3	2	3	66.7		
	成果指標（1）	3 人	80	95	106	110	91	113	82.7		
	成果指標（2）	4 円	11,177	14,485	11,554	14,485	11,634	14,485	80.3		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	11,176	34,821	28,439	40,091	31,903	38,941	平成26年度 予算執行率(%)	79.6	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7 千円	2,358	2,528	378	389	324	416	すぎなみワークチャレンジ事業パート職員報酬等の残により、執行率が低い状況となっています。		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.66	1.66	1.63	0.60	1.36	1.36		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	1.00	1.00	1.06	1.00		
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	6.00	7.00	7.00	7.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,442	14,326	14,067	5,286	11,982	11,982		
		再任用職員分	12 千円	0	0	3,860	4,050	4,293	4,050		
		非常勤職員分	13 千円	0	0	16,680	19,810	19,810	19,810		
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	25,618	49,147	63,046	69,237	67,988	74,783			
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	883,379	847,362	2,033,742	1,306,358	1,743,282	1,411,000			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	927	559	502	1,111	1,370	1,772		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	927	559	502	1,111	1,370	1,772			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	24,691	48,588	62,544	68,126	66,618	73,011			
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	211
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		職場体験実習	39	人	237
		すぎなみワークチャレンジ事業	24	人	26,263
		障害者施設の工賃アップ支援			4,009
		その他（ステップアップ雇用）			1,394
(2) 事業実績	<p>職場体験実習では商店街での実習が本格的に始まり、20名が参加しました。実習の体系全体を見直しパンフレットを作成して周知を図りました。ワークチャレンジ事業では区役所での就労体験を生かし、24人中8名が一般就労しました。工賃については、任意団体である「すぎなみ仕事ねっと」への運営支援や民間事業者によるカウンセリング等を行いました。平均工賃の伸びは平成25年度比0.69%増に留まりました。杉並区の優先調達推進方針を策定し、庁内からの受注や物品調達を推進しました。</p>				
事業開始当初から現在までの変化	<p>平成18年に障害者自立支援法が施行されたことにより、障害者の地域での自立した生活の実現に向けた就労支援体制の強化充実が図られました。平成18年4月から精神障害者を雇用率に算定できることになり、精神障害者の就労が大幅に進みました。また平成25年に障害者の法定雇用率が、民間企業で1.8%から2.0%に引き上げられ、障害者の雇用が進みました。 工賃向上については国が平成19年度から「工賃倍増5か年計画」として、また、東京都はそれを受けて平成24年6月に「東京都工賃向上計画」を策定し、工賃向上の取組を推進してきました。杉並区も平成18年から作業所の工賃アップを目的とした「すぎなみ仕事ねっと」を支援してきました。</p>				
事業環境の変化 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>就労意欲を喚起したり、就労に必要な課題を明らかにするために、様々な就労体験の場が求められています。精神障害者や発達障害者など様々な障害に対応した就労の支援が必要です。また、就労継続支援事業所や企業に就職している方の高齢化によるその後の支援や居場所について課題となっています。各障害者施設等からは工賃アップにつながるような軽作業や清掃などの受注の増加や販路拡大の場が求められるとともに、作業所の活性化や民間のノウハウを取り入れられるような仕組みづくりが求められています。</p>				
今後の予測	<p>平成28年4月1日施行の障害者雇用促進法の改正に伴い、障害者の雇用をめぐる合理的な配慮の必要性など様々な影響が出るのが予想されます。平成30年に法定雇用率の算定基礎に精神障害者が加わることで、今後も障害者の雇用が進みます。 工賃向上については、東京都はこれまでの取組の実績を踏まえ、平成27年度から29年度までの工賃向上計画を策定し、さらに工賃向上策を推進していきます。杉並区も、民間との協働を通じて障害者施設の活性化や工賃アップの取組が進みます。</p>				
評価と課題	<p>各障害者通所施設からの就職者が伸びない中で、職場体験実習を通じて就労意欲を喚起するとともに、一人ひとりにあった支援を明らかにして就労支援を進める必要があります。就労支援の実施には障害者雇用支援事業団を中心に、公共職業安定所、病院・保健センター、相談支援事業所などの専門機関や地域と連携し、就労支援と生活支援を一体的に実施する必要があります。高齢障害者の日中活動の場については今後関係機関との検討を進めます。 障害者通所施設に通う障害者の工賃アップについては、これまでも「すぎなみ仕事ねっと」という任意団体への支援を通じて進めてきましたが、協働事業を通じて現状の課題の把握や民間の視点を導入した工賃アップの取組を進めていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>障害者施設等で働く障害者の就労意欲を喚起したり、働くことを希望している障害者に就労体験の機会を提供することで一人ひとりにあった就労に結び付くよう、実習の場やワークチャレンジ事業を今後も充実させます。 成人期発達障害者支援事業の一環として、発達障害者の就労支援についての専門性を高めます。障害者施設の工賃アップについては、平成27年度から協働事業を開始します。各作業所と市場ニーズを結びコーディネートの役割を民間事業者に担ってもらうことにより、障害者施設の活性化と工賃アップを図ります。また、工賃アップを目的とした任意団体「すぎなみ仕事ねっと」についても、平成30年を目標により自主的で効果的な運営がなされるよう、この協働を通じて支援していきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00217 ）

事務事業名称 障害者福祉会館の維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 001	整理番号 224			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 217				
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和57年度								
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理			
	対象	障害者福祉会館及びその利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例 杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適な環境の中で、各種教室等への参加や活動を行うことができるよう施設の維持管理をする。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	施設の延べ床面積 保守委託契約件数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明						
区分	単位	平成24年度実績	平成25年度計画		平成26年度計画		平成27年度計画	平成26年度対計画比(%)		
指標	活動指標（1）	1 m ²	1,744	1,744	1,744	1,744	1,744	100.0		
	活動指標（2）	2 件	9	9	9	9	9	100.0		
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	26,450	33,311	31,956	27,595	27,024	33,556	平成26年度予算執行率(%) 97.9	
	（内）投資的経費等	6 千円	0	420	420	0	0	0	特記事項 受益者負担分については、利用者コピー代（平成24年8月まで）、自動販売機電気料金、敷地使用料が含まれています。敷地使用料は平成25年4月から28年3月までを東京電力が一括で平成25年度に支払っています。	
	（内）委託費	7 千円	18,604	24,107	23,553	18,938	18,779	24,712		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.12	0.12	0.12	0.12	0.34		0.34
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20		0.20
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,044	1,036	1,036	1,057	2,995		2,995
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	566		566
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	27,494	34,347	32,992	28,652	30,585	37,117		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	15,765	19,454	18,677	16,429	17,537	21,283		
	財源	受益者負担分	16 千円	171	763	763	45	45		48
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	171	763	763	45	45	48		
差引：一般財源(14-20)		21 千円	27,323	33,584	32,229	28,607	30,540	37,069		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.6	2.2	2.3	0.2	0.1	0.1			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 224

平成26年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	1	所
(1) 主な取組	光熱水費	1	所	7,343
	維持管理経費等	1	所	378
	工事請負費	1	所	525
	その他（通信運搬費）			493
	(2) 事業実績	平成25年度より、障害者福祉会館3階に杉並区障害者地域相談支援センター（すまいる高井戸）が入りました。建物の保守管理や定期清掃等維持管理については1階の障害者雇用支援事業団と三者で連携を図りました。また、昨年同様節電にも積極的に取り組みました。また、平成25年度にはほとんど使用実績のない浴室を会館内の有効スペースとして改修しました。		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、障害者福祉会館運営協議会と連携を密にして、施設の保守管理に注意を払うとともに、備品類の効果的な利用や光熱水費の節減等に協力を求めてきました。このため、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると喜ばれています。</p> <p>しかし、施設の老朽化に伴う設備の不具合等も増えてきており、適正な維持管理が求められています。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00218)

事務事業名称		障害者交流館維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	003	整理番号	225
現担当課名		障害者生活支援課			係名	管理係			連絡先電話番号	2273		昨年度整理番号	218	
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成7年度												
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課									事業評価区分	施設維持管理		
	対象	和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例						
						(2)		杉並区立障害者福祉会館及び視覚障害者会館条例施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適な環境の中で活動できるよう施設を維持管理する。			活動指標	指標名(1)		施設延床面積(2施設合計)						
					指標説明		保守委託契約件数							
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者にとって快適な施設を維持するために、機械設備の保守点検等を実施する。			成果指標	指標名(1)									
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	m ²	693	693	693	693	693	693	100.0				
	活動指標(2)	2	件	1	1	1	1	1	1	100.0				
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	4,103	5,650	5,232	5,425	5,144	5,327	平成26年度予算執行率(%)	94.8			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	381	380	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	2,553	3,346	3,075	3,205	3,080	3,129	受益者負担分=障害者交流館使用料、自動販売機使用料				
	職員数	常勤職員数	8	人	0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.11				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20				
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,044	1,036	1,036	1,057	969	969				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	566	566				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	5,147	6,686	6,268	6,482	6,679	6,862					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	7,427	9,098	8,496	9,354	9,638	9,902					
	財源	受益者負担分	16	千円	351	380	375	400	451	400				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	351	380	375	400	451	400					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	4,796	6,306	5,893	6,082	6,228	6,462					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	6.8	5.7	6.0	6.2	6.8	5.8						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	225	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	2	所	2,999	
	光熱水費	2	所	1,959		
	維持管理経費ほか	2	所	186		
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>障害者交流館の維持管理については、業務委託をしている杉並区障害者団体連合会と連携し行っています。高円寺障害者交流館は、同じ建物の中に高円寺福祉事務所、障害者地域相談支援センター（すまいる高円寺）があり、施設全体で利用者の安全安心と快適性の確保に努めています。また、和田障害者交流館についても、和田小学校の一部を区民集会所と併設で目的外使用し、高円寺障害者交流館と同様な内容で行っています。節電にも積極的に取り組みました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題	<p>利用者の安全で快適な環境を確保するため、業務委託している杉並区障害者団体連合会と連携を密にして、施設の保守管理に努めました。その結果、施設内で大きな事故もなく、多くの利用者からは安心して施設を利用できると言われています。</p> <p>高円寺交流館については、駐輪場が狭いことや、土壌環境の関係で地階施設の湿気が高い等の課題があります。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性				
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00219）

事務事業名称 障害者施設運営			款 04	項 01	目 06	事業 004	整理番号 226			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2273			昨年度整理番号 219				
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始									
	平成26年度担当課名 障害者生活支援課					事業評価区分 一般				
	対象	区が有する障害者福祉施設等（生活圏を除く）	根拠法令等 (1) (2)	契約事務規則 会計事務規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	効率的かつ効果的な事務事業の執行による障害者福祉施設の側面支援、障害者福祉行政の充実を図る。	活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	障害者生活支援課本庁職員 需用費（一般需用費）合計						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品を購入する。 各園の事業運営や維持管理に含めることの難しい運営に必要な諸事務経費（区有施設である「あけぼの作業所」の樹木剪定、研究会負担金等）。	成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分	単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画（目標値） 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比（%）		
指標	活動指標（1）	1 人	10	10	10	10	10	9	100.0	
	活動指標（2）	2 円	3,352	1,688	939	1,600	1,428	1,567	89.3	
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	11,232	6,956	6,367	8,659	7,694	7,163	平成26年度 予算執行率（%） 88.9	
	（内）投資的経費等	6 千円	290	0	0	0	0	0		特記事項
	（内）委託費	7 千円	4,778	2,593	2,536	3,110	2,581	2,438		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.84	0.84	0.81	0.81	0.68	0.68	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.40	0.40	0.20	0.20	
	人件費	常勤職員分	11 千円	7,308	7,249	6,990	7,136	5,991	5,991	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	1,112	1,132	566	566	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	18,540	14,205	14,469	16,927	14,251	13,720		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	1,825,000	1,420,500	1,446,900	1,692,700	1,425,100	1,524,444		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	18,540	14,205	14,469	16,927	14,251	13,720		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	226	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		樹木管理委託		1	所	2,496
		光熱水費（あすなる作業所・障害者生活支援課分室）				3,537
		一般購入・施設修繕等				1,513
		その他（研究会負担金、報償費ほか）				148
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>本庁職員が施設運営に必要な事務用品、書籍、印刷用品の購入のほか、各生活園の事業運営や維持管理に含めることが難しい運営に必要な諸事務を行っています。委託料は区有施設「あけぼの作業所」の樹木剪定費で、施設及び近隣の住環境の維持向上を図っています。</p> <p>重度知的障害者通所施設の整備に伴い、「あすなる作業所」2階部分の旧シルバー人材センターに係る平成26年4月から8月分の光熱水費及び維持管理経費を負担しました。9月からは、通所施設が開所され、「あすなる作業所」運営法人の負担になりました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事務事業の経費削減に努めながら、需用費の支出については効率かつ効果的に執行しています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	特に意見はありません。				
	今後の予測	コスト削減に加え、環境に配慮した事務用品の購入が求められます。				
評価と課題	運営に必要な諸事務・諸経費のため大きな改善・改革は難しいが、不要不急な経費の支出や必要性の薄れたものの支出について、常に見直しを行っていきます。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	常に全体の中で経費の見直しを行っていきます。					

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00220）

事務事業名称		すぎのき生活園の維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	005	整理番号	227	
現担当課名		障害者生活支援課		係名	すぎのき生活園			連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	220				
上位施策No・施策名											18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和55年度														
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	すぎのき生活園の利用者				根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
							(2)		杉並区立すぎのき生活園条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。				活動指標	指標名（1）		延べ床面積							
						指標名（2）		保守委託契約件数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。				指標説明											
					成果指標	指標名（1）										
						指標名（2）										
					指標説明											
						指標名（2）										
					指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1	m ²	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432	100.0						
	活動指標（2）	2	件	11	11	11	10	10	10	100.0						
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	20,930	22,099	21,266	24,680	24,374	26,017	平成26年度予算執行率（%）	98.8					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	10,156	11,245	11,023	12,760	12,620	13,770	3か所の生活園の指標を合わせるため、活動指標（2）を開園日数から保守委託契約件数に変更した。受益者負担分＝施設使用料						
	職員数	常勤職員数	8	人	3.09	3.09	2.08	2.08	2.84	2.84						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	2.20	2.20	1.10	1.10						
	人件費	常勤職員分	11	千円	26,883	26,667	17,950	18,325	25,020	25,020						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	2,750	2,780	6,116	6,226	3,113	3,113						
	総事業費（5+11+12+13）	14	千円	50,563	51,546	45,332	49,231	52,507	54,150							
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）	15	円	20,791	21,195	18,640	20,243	21,590	22,266							
	財源	受益者負担分	16	千円	2	2	2	2	2	2						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	2	2	2	2	2	2							
差引：一般財源（14-20）		21	千円	50,561	51,544	45,330	49,229	52,505	54,148							
受益者負担比率（16÷14）		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 227

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	11,743
		光熱水費	1	所	9,681
		維持管理経費等	1	所	2,950
		その他()			
(2) 事業実績	誘導灯ランプ交換、非常照明交換、非常放送設備マイクの交換、昇降機の修理、すぎのき棟ガスヒートポンプ室内機プリント基板交換等を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	開設から、すぎのき棟33年目・けやき棟22年目を迎えました。利用者の安全を確保をしながら利便性を考えた改修を順次計画的に行う必要があります。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（ 00221 ）

事務事業名称		こすもす生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	006	整理番号	228	
現担当課名		障害者生活支援課			係名	こすもす生活園			連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	221		
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 5年度													
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課											事業評価区分	施設維持管理	
	対象	こすもす生活園の利用者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律							
						(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。			活動指標	指標名（ 1 ）		施設の延床面積							
					指標説明		保守委託契約件数								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（ 2 ）	指標説明										
	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）										
					指標説明										
				指標名（ 2 ）	指標説明										
					指標説明										
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1	m ²	794	794	794	794	794	794	100.0					
	活動指標（ 2 ）	2	件	7	7	7	7	7	7	100.0					
	成果指標（ 1 ）	3													
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	11,924	9,273	7,620	8,999	7,875	9,824	平成26年度 予算執行率（%）	87.5				
	（内）投資的経費等	6	千円	4,300	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	3,832	4,108	4,087	4,023	3,947	4,053	3か所の生活園の指標を合わせるため、活動指標（2）を開園日数から保守委託契約件数に変更した。 受益者負担分＝敷地使用料（施設使用料は実績0のため含めず） 執行率90%未満の理由：光熱水費を抑制できたため。					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.86	1.86	1.85	1.85	1.84	0.94					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.10	0.10					
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,182	16,052	15,966	16,299	16,210	8,281					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	4,860					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	556	566	283	283					
	総事業費（5+11+12+13）	14	千円	28,106	25,325	24,142	25,864	24,368	23,248						
	単位あたりコスト（(14-6)÷1）	15	円	29,982	31,895	30,406	32,574	30,690	29,280						
	財源	受益者負担分	16	千円	68	68	64	64	64	64					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計（16+17+18+19）		20	千円	68	68	64	64	64	64						
差引：一般財源（14-20）		21	千円	28,038	25,257	24,078	25,800	24,304	23,184						
受益者負担比率（16÷14）	22	%	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 228

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	3,460
		光熱水費	1	所	3,199
		維持管理経費等	1	所	1,216
		その他()			
(2) 事業実績	<p>平成26年3月末非常用放送設備に不具合が生じ、営繕課に工事調査書を提出しました。利用者トイレの形態が合わなく、また利用者が26名に増えたことでトイレの待ち時間が長くなったため、前年度にトイレ改修と増設の修繕計画を提出し、改修を行いました。厨房では、配膳車修理、排気ファンベルト交換、照明機器修理、浴室では、給湯器リモコン修理、ヒーター錆修理、浴室用リフター修理、そのほか、1階横引きパネル(アコーディオンシャッター)修理、サッシ網戸レール修理を行いました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>開設してから20年以上が経過し、様々な機器が耐用年数を過ぎて修理、取り換えが必要になってきています。機器の修繕及び取り換えについて計画的な実施が必要です。利用者の障害の重度化・重複化傾向のため、使用する車いすも座位を保持する必要性から大型化しており活動スペースが限られています。また利用者間の接触トラブルも増えています。環境の整備とともに、活動の動きを想定した点検が必要です。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00222 ）

事務事業名称		なのはな生活園の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	007	整理番号	229		
現担当課名		障害者生活支援課		係名	なのはな生活園			連絡先電話番号	3335-0415		昨年度整理番号	222				
上位施策No・施策名										18 障害者の社会参加と就労機会の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成 9年度														
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課														
	対象	なのはな生活園の利用者			根拠法令等	(1)		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律								
						(2)		杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	利用者が安全で快適に過ごせるよう施設の維持管理を行う。			活動指標	指標名（ 1 ）		施設延べ床面積								
					指標説明		保守委託契約件数									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			指標名（ 2 ）	指標説明											
	利用者が安全で快適に過ごせるようするため、施設の清掃や諸設備の保守点検、修繕などを実施する。			成果指標	指標名（ 1 ）											
					指標説明											
				指標名（ 2 ）	指標説明											
					指標説明											
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（ 1 ）	1	m ²	1,019	1,019	1,019	1,019	1,019	100.0							
	活動指標（ 2 ）	2	件	9	9	9	9	9	100.0							
	成果指標（ 1 ）	3														
	成果指標（ 2 ）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	11,460	12,497	11,549	12,207	12,030	13,332	平成26年度予算執行率（%）	98.6					
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7	千円	5,110	5,544	5,494	5,466	5,420	6,430	受益者負担分 = 施設使用料						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.85	1.85	1.85	1.85	1.84	1.84						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.10	0.10						
	人件費	常勤職員分	11	千円	16,095	15,966	15,966	16,299	16,210	16,210						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	556	566	283	283						
	総事業費	14	千円	27,555	28,463	28,071	29,072	28,523	29,825							
	単位あたりコスト	15	円	27,041	27,932	27,548	28,530	27,991	29,269							
	財源	受益者負担分	16	千円	8	1	15	2	8	3						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20	千円	8	1	15	2	8	3							
差引：一般財源		21	千円	27,547	28,462	28,056	29,070	28,515	29,822							
受益者負担比率		22	%	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 229

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	所	4,815
		光熱水費	1	所	5,155
		維持管理経費等	1	所	2,060
		その他()			
(2) 事業実績	<p>「みどりのボランティア」に樹木の剪定や除草などを依頼し、景観と安全面や衛生面での管理を行っています。また、障害者の事業所に清掃業務を委託し、障害者雇用の拡大を図るとともにコスト削減を実行しています。</p> <p>平成26年度は、入浴用リフト手元スイッチ交換、トイレ水漏れ修理、厨房食器消毒保管機修理、活動室照明交換、電話機取替、照明交換及びソーラーシステム配管修理、誘導灯・非常照明の修理等を行いました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	<p>開設より16年目になり施設の老朽化が進んでいます。利用者が安全で快適に過ごせるよう、日頃の管理や定期的な点検及び修繕を行う必要があります。</p> <p>入浴設備の耐用年数7年はすでに越えています。入浴サービスのニーズは高く、安定したサービスの提供のため、入浴備品を中長期的に購入する必要があります。</p> <p>会議室の使用について、新規利用者の受け入れの状況を見ながら、住民から希望のある目的外利用の対応も並行して進めていく必要があります。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00231）

事務事業名称 障害者入所・通所施設の整備			款 04	項 01	目 07	事業 004	整理番号 238			
現担当課名 障害者生活支援課		係名 管理係	連絡先電話番号 2272		昨年度整理番号 231					
上位施策No・施策名 18 障害者の社会参加と就労機会の充実					予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成11年度	実行計画事業 目標 04 施策 18 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成26年度担当課名	障害者生活支援課				事業評価区分 一般				
	対象	障害者入所・通所施設を整備する社会福祉法人		根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第6条 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第11項					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	入所待機者の解消を図るとともに、グループホームなどの居住の場の確保や就労の促進などと連携して、障害者の地域自立生活を総合的に支援することにより、障害者の安全・安心な地域生活を実現する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）	確保優先入所枠数累計 入所床確保施設数累計					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	社会福祉法人が整備する障害者施設に対し、施設整備費を助成することにより、障害者が利用する入所・通所施設を確保する。 平成25年度末現在、都内に4施設（うち2施設が区内）に入所枠を確保している。 重度知的障害者の通所先確保のため、地域分散型通所施設を整備する。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	心身障害者入所施設から地域生活への移行者数 都内施設入所者割合 都内施設入所者数÷施設入所者数					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画	平成25年度 実績	平成26年度 計画 (目標値)	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 名	56	56	56	56	56	56	100.0	
	活動指標（2）	2 名	4	4	4	4	4	4	100.0	
	成果指標（1）	3 名	11	12	4	15	8	4	53.3	
	成果指標（2）	4 %	53.2	54.9	53.7	55.0	54.4	54.5	98.9	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	43,541	46,594	46,452	90,686	89,189	42,258	平成26年度 予算執行率(%) 98.3	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内) 委託費	7 千円	0	3,343	3,339	47,000	46,505	0		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.30	0.30	0.35	0.30	0.34	0.34	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,610	2,589	3,021	2,643	2,995	2,995	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	46,151	49,183	49,473	93,329	92,184	45,253		
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	824,125	878,268	883,446	1,666,589	1,646,143	808,089		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	46,151	49,183	49,473	93,329	92,184	45,253		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	238	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		マイルドハート高円寺の区民利用枠確保・運営法人への助成		9	床	23,832
		すだちの里すぎなみの区民利用枠確保・運営法人への助成		40	床	18,853
		重度知的障害者通所施設改修工事		1	所	46,504
	その他（ ）					
(2) 事業実績	<p>マイルドハート高円寺、すだちの里すぎなみの施設整備に係る福祉医療機構借入金の償還金に対して助成を行いました。 重度化した利用者の増加への対応及び既存施設の地域偏在解消や長時間送迎の負担軽減などを図るため、あすなる作業所が存在する区施設の2階部分を改修し、重度知的障害者通所施設を整備しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>重い障害があっても、障害者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう障害者施策の充実が求められています。こうした中で、国は障害者施設の整備補助に関して、地方自治体への補助を廃止し、補助対象を社会福祉法人などに限定しました。また、特別支援学校卒業者の通所先の確保が、施設数や入所定員が増えていがないため、困難になってきています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>重い障害があっても、住み慣れた地域で暮らすため、入所施設や通所施設に対し、大きな期待が寄せられています。特に、マイルドハート高円寺は、入所と通所の他に短期入所を行い障害者の地域生活を支援する中核的な役割としての期待があります。一方で施設数や入所枠が増えていがないため、入所・通所施設の整備が求められています。</p>				
	今後の予測	<p>在宅で生活している障害者の重度化や高齢化、介護者の高齢化が進んでおり、地域生活を継続できるようにするための施設整備等の支援がますます重要になっていきます。 現在、旧永福南小学校跡地において特別養護老人ホームと併設した重度身体障害者支援施設建設・運営法人を公募しており、平成29年度に事業を開始する予定です。</p>				
評価と課題	<p>障害者通所施設の整備には、用地確保や建設経費などが課題となっているため、区有施設の活用や他施設との合築など、あらゆる可能性について検討します。また、障害者通所施設において、医療的ケアの必要な利用者が増加しており、対応策を検討していきます。 障害者入所施設については、旧永福南小学校跡地を活用した重度身体障害者支援施設（特別養護老人ホームと併設）の整備を平成29年度開設に向けて進めていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>障害者施設は、整備に多額の整備費を要しますが、区が整備する場合には国や都からの整備補助を得られません。このため、社会福祉法人が国や都からの整備補助を活用し、法人自己負担分の一部を区が補助するといった手法により、障害者施設の整備を推進してきました。区からの助成により整備した施設には、より多くの区民の方が利用できるよう、今後も社会福祉法人等との連携を深めていくことが重要です。また、区立施設再編整備計画により生み出された用地等を活用し、計画的に施設整備を進めていく必要があります。</p>					